

## まちづくり基本条例ワークショップ（開催結果概要）

と き	平成24年2月10日（金）17:30～19:30
ところ	恵庭RBPセンタービル3階視聴覚室（恵み野北3丁目1-1）
出席者	総合コーディネーター 横山純一 氏（北海学園大学法学部教授） テーブルコーディネーター 4名 参加者 22名 傍聴者 12名 事務局 5名

### 開会

### 討議テーマ

「恵庭の良いところ・良くないところ・もっと良くなるために何が必要か・住み良いまちにするには」

### テーブル討議

参加者はA・B・C・Dの4つのグループに分かれ、テーブルコーディネーターを中心にテーマに沿ってワークショップを行う。

### 発表

#### Aグループ

恵庭といえば何か

- ・花
- ・水が美味しい

恵庭の良いところ

- ・高い建物が無く空がきれい
- ・道の駅が賑わっている
- ・医療施設が整備されている
- ・適度に暮らしやすい
- ・都会的な要素と田舎的な要素を兼ね備えている
- ・イベントが豊富

恵庭の良くないところ

- ・恵庭といえば、これというものがない
- ・住み易く便利な半面、車がないと生活しづらい
- ・おしゃれな服を買うところが少ない
- ・恵庭を知らない人が多い

恵庭がもっと良くなるために何が必要か

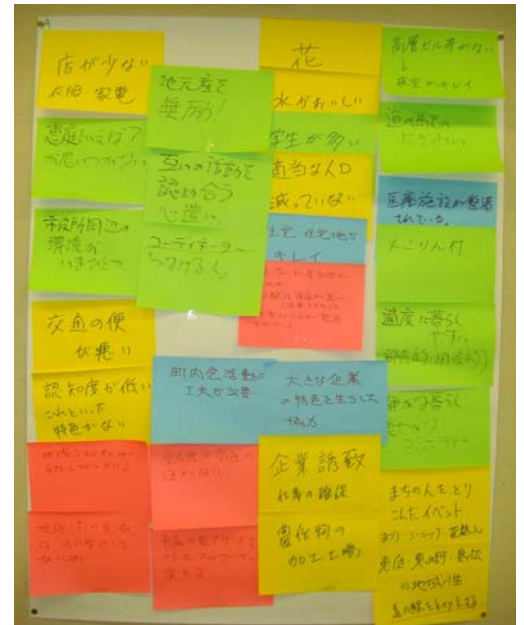
- ・まちのために色々な団体が活動しているが、互いにどのような活動を行っているのかわからないことから、互いに認め合う心遣いが必要であり、こうした団体・活動を結ぶ



- ・コーディネーターが必要となるのではないが
- ・まちの活動のベースとなる町内会活動を工夫すべきではないか
- ・市内の大きな企業の地域貢献が非常に大きいことから、企業の特徴を活かした協力をしやすい環境を作ることが必要ではないか
- ・若い人が働くための企業誘致が必要ではないか
- ・農産物を加工できる環境づくり
- ・道の駅を拠点として、恵庭・恵み野・島松を繋ぐまちづくり

ワークショップに参加し、札幌市から文教大学へ通学している学生の意見

- ・シーニックナイトやごみゼロなどに参加しているが、こうした地域イベントが札幌市と比べ非常に多いと感じる。



## Bグループ

恵庭の良いところ

- ・花のまち
- ・住みやすいまち
- ・人があたたかい
- ・交通の便が良い

恵庭がもっと良くなるために何が必要か

- ・各家庭のガーデニングは素晴らしいが、まちのおすすめ場所がない
- ・地域の魅力を活用した教育
- ・内にも外にも発信力が弱い（例えば、イメージキャラクター、名産品が必要）
- ・恵庭・恵み野・島松で壁を感じることから、互いの地域を高めあうための情報の共有



## Cグループ

### 恵庭の良いところ

- ・若者が多い
- ・自然が豊かで住みやすい
- ・田舎のようで田舎でない利便性
- ・イベントが盛んで、団結力がある
- ・子育て環境が良い

### 恵庭の良くないところ

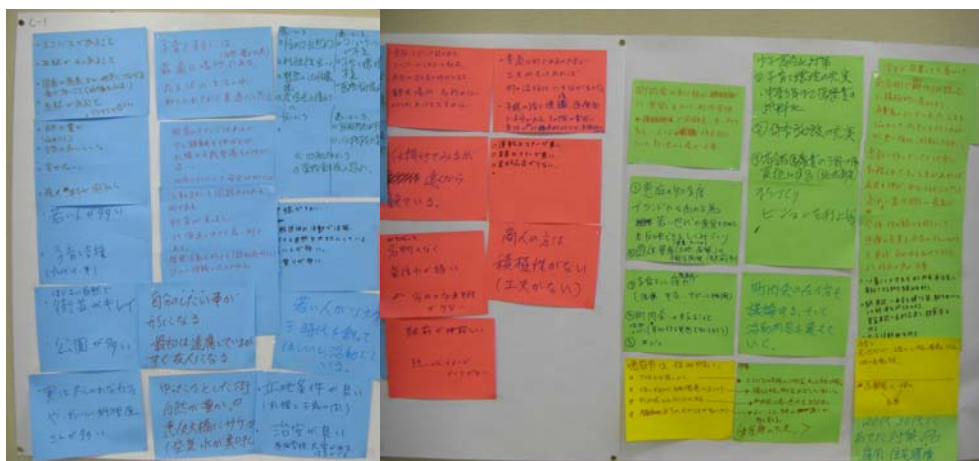
- ・知名度が低い
- ・商売に積極性がなく時代のニーズに合った工夫がされていない
- ・子育てにおいて医療に不安があり、就学後の医療費助成がない
- ・運転のマナーが悪い
- ・学生が車を使わず食品を買える場所が少ない
- ・駅前が特に寂しく、お金を使う仕組みが少ない

### 恵庭がもっと良くなるために何が必要か

- ・町内会の取組みを見直し、住民が向き合って話し合い行動することが必要。
- ・20代、30代が活躍するために、子育て医療環境の充実
- ・町内活動などで高齢世代が若い世代を支える仕組みづくり
- ・商店街の活性化に向け、商店の皆さんがワークショップなどへ参加し消費者ニーズを把握することで閉塞感がなくなり、雇用の場も生まれるのではないかと

### これから子育てをする世代のワークショップ参加者の意見

- ・治安がよく、自然も多く、子育て環境にも恵まれている中で、若い世代も多い。こうした世代が住み続けられるよう、子育てにおける夜間の医療体制整備、医療費助成の充実のため、子育て支援に注力する考えを市でもってほしい。



## Dグループ

### 恵庭の良いところ

- ・自然が豊か
- ・札幌市と千歳市に近い
- ・治安がよく・災害が少ない
- ・バランス良く生活できる環境

### 恵庭の良くないところ

- ・まちの中心がない



- ・良い素材沢山あるが情報発信が弱い
  - ・特産品にこれといったものがない
  - ・恵庭の奥座敷、盤尻がごみ埋め立て地となっている
- 恵庭がもっと良くなるために何が必要か
- ・自然・花をもっと目立つように行政だけでなく住民が皆で花壇を管理する
  - ・線路沿いを利用した花壇などによる、花のまちPR
  - ・情報発信力が弱い
  - ・ホームページの改善
  - ・高齢者から子どもまで、市民が連携したまちのPRの継続

ワークショップに参加し、恵庭市から北海学園大学へ通学している学生の意見

- ・恵庭市で生まれ、ずっと住んでおり恵庭が好きです。しかし、札幌の学校へ通っていると恵庭を知っている人が少ないことを実感しています。私は、恵庭が急激に発展してほしい訳でなく、ずっと住み良いまちであり続けて欲しいと願っています。



#### まとめ (総合コーディネーター)

発表ありがとうございました。

4グループから「恵庭の良いところ」として、若い人が多い、住みやすい、田舎と都市を兼ね備えている、地域イベントが多いことなど、沢山の意見が出されました。

それに対して「恵庭の良くないところ」では、発信力が弱い、もっとPRが必要である。内にも外にも発信力が弱いことが、各テーブル共通で指摘されておりました。また、子育ての緊急時に医療に不安があるとした意見が出されておりましたが、総じていえば良いところが多く出されておりました。

これからの取組みとして、発信力をどうつけていくのか、そのためにPRを工夫する事がこれから大事になるのではないかと。町内会活動の重要性を認識したなかで活動の仕方の工夫を求める意見が多くありました。子育て世代を



さらに支援する仕組みづくりを求める意見、商店街の活性化を求める意見などが出されました。

いずれにしても、良いところ、悪いところがあって、これからどのように住み良いまちにしていくのか、多様なレベルの高い意見が沢山あったと感じています。

これから恵庭が、住み良いまち・住み続けられるまちにするために、皆さんにはこれからも励んでいただきたいと思ひますし、まちづくり基本条例制定市民委員会としても、ワークショップで出された意見を活かして恵庭の住み良いまちづくり、あるいは住み続けられるまちに向け、条例を検討していきたいと考えております。7月頃に中間フォーラムを計画しておりますし、ワークショップも開催したいと考えておりますので、是非、今日1回限りということではなく、中間フォーラム、ワークショップへ参加いただければと思います。本日はありがとうございました。



閉会